

個人質問(4月14日) 田口一登議員

# 世界一危険な浜岡原発は直ちに停止せよ 原発事故を想定した防災計画策定を

浜岡原発は、巨大な東海地震の想定震源域の真上という地球上で最も危険な場所にある「世界一危険な原発」です。田口議員は「全国の原発は総点検を行なう必要があるが、浜岡原発はただちに停止すべきだ」と市長に求めました。



の稼働も検討すれば、ただちに停止出来る」と市長の姿勢をただしました。

## 原発震災を想定した地域防災計画に改めよ

浜岡原発から名古屋市までは約130km、老朽化が著しい美浜原発や敦賀原発からも約100kmしか離れていません。ところが、市の「地域防災計画」には、原発事故を想定した対策はいっさいありません。田口議員は「地域防災計画を見直し、原発震災を想定した対策も定めておくべきだ。ヨウ素剤も、市が責任をもって確保・備蓄し、緊急時に対応できるようにすべきだ」とただしました。消防長は「東日本大震災による被害と対策の検証、国、県の動向などを注視していく。ヨウ素剤は、備蓄はしていない」と答えました。

## 浜岡原発の安全性や、事故への対応を検証する(市長)

2009年8月のM6.5の駿河湾地震で、浜岡原発5号機は、「将来起こりうる最強の地震」の基準地震動を超える揺れを観測しました。その数百倍のエネルギーが予想される東海地震が、この原発の真下で起きたらどうなるのか、まったく予測がつかいません。

田口議員は「浜岡原発の危険性についての市長の認識」をただしました。市長は、「中部電力に、市としても浜岡原発の安全性を検証したい、停止も含めて研究するので是非ご協力いただきたい」といった。原発そのものの安全性について、中電や役所任せにせず、名古屋市民の不安のために、精一杯検証作業をし、なるべく早く報告したい」と答えました。

## 田口議員「計画を主体的に見直せ」 市長「その通りで見守るだけのつもりはない」

田口議員は「国、県の動向を見守りながら、という受け身の姿勢でいいのか」と厳しく追及。市長は「その通りで、見守っているだけでおわるつもりは全くありません」と答えました。

## 浜岡原発を止めても電力不足にはならない

田口議員は「浜岡原発への不安を解消する最良の手段は、運転を永久に停止することだ」と追及。市長は「もし止めたらその分どうするか、という調査をしてからでないといかん。電気を止めることになって民間経済を痛めつけてはいけない」と答弁。

田口議員は「浜岡原発は止めても電力不足にはならない。中電の電力供給能力は最大需要の想定に対し、浜岡原発の発電量以上の余裕がある。中部電力も認めている。休止中の発電所も三重県や愛知県にあり、こ

## 自然エネルギー普及の目標と計画をもて

名古屋市の温室効果ガスの削減目標は、2020年までに25%、2050年までに8割削減です。この目標を実現するシミュレーションに、原子力の増加が大きなウェイトを占めていますが、太陽光など再生可能エネルギーを活用する戦略へ転換すべきです。ドイツは現状16%の再生可能エネルギーを2030年までに30%に引き上げる計画です。田口議員は「名古屋市でも再生可能エネルギーを飛躍的に普及させる目標と計画を持って」と要求しました。環境局長は「自然エネルギー等の導入は重要、2020年を目標とする実行計画を策定中。この中で目標と計画を明らかにする」と答えました。

中電の最大電力需給計画(送電端)

年度	2010 (実績)	2011	2012	2013	2014
最大電力	2,621	2,560	2,586	2,605	2,624
供給力	2,916	2,999	2,891	2,829	2,906
供給予備力	295	439	305	224	282

(中電 23年度「電力供給計画」より) 単位: 万KW

中部電力の発電設備(2009年度)

種類	個所数	出力(kW)
火力	11	23,903,800kW
水力	182	5,218,640kW
原子力	1	3,504,000kW
新エネルギー (風力)	1	6,000kW
合計	195	32,632,440kW